

# じどうせいと ほごしゃ みな 児童生徒・保護者の皆さんへ

いつもより短い夏休みが終わり、新学期が始まった児童生徒の皆さんに伝えたいことがあります。

新型コロナウイルス感染症が広がってからは、今までと違う毎日、皆さんはたくさん不安を感じていたのではないのでしょうか。そのような中でも、多くの方々が、皆さんが困らないように働いてくださっています。

しかし、残念なことに、SNSなどでは、そういった方々やその家族、そして感染症にかかって苦しんでいる人に対して、心ない書き込みなどが起きています。

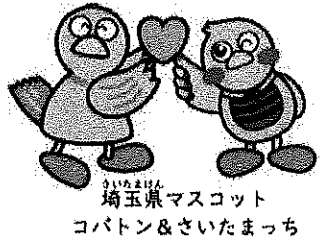
皆さんが自宅や学校で感染予防を徹底しているにもかかわらず、身近な場所での感染の話や噂を聞くようになると、自分の周りの人の感染を疑うようになることがあるかもしれません。新型コロナウイルス感染症への不安や恐れが、偏見や差別につながります。

皆さんには、差別的な言動には同調せず、適切な行動をとることができるよう、伝えたいことやお願いしたいことが4つあります。

- 新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があり、感染した人が悪いということではありません。
- 感染した人が悪いという雰囲気ができ、感染したことを言いだしにくくなると、さらに感染が広がってしまうかもしれません。
- 感染した人を責めるのではなく、励まし、治って学校へ戻ってきたら、温かく迎えます。
- 皆さんは、今、自分ができる予防をしっかりと行い、日々の学びを続けてほしいと思います。

今こそ、新型コロナウイルス感染症について正しく理解し、もし自分が感染したら、周囲の人にどうしてほしいかということを考えて行動しましょう。

保護者の皆様も、お子様と一緒に読むなどし、ともに考えてくださいますようお願いいたします。



令和2年8月  
さいたまけんきょういくいいんかいきょういくちよう  
埼玉県教育委員会教育長  
高田直芳